

2023年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報 | | | |
|-------------|--|-------------------|------------------------------|
| 科目名 | ゼミナールⅡA (SeminarⅡA) | | |
| ナンバリングコード | E21201 | 大分類 / 難易度 科目分野 | 経営経済学科 専門科目 / 標準レベル ゼミナール |
| 単位数 | 2 | 配当学年 / 開講期 | 2年 / 前期 |
| 必修・選択区分 | 必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。 | | |
| 授業コード | E002409 | クラス名 | 本村ゼミ |
| 担当教員名 | 本村 裕之 | | |
| 履修上の注意、履修条件 | 本ゼミでは、経済の情報を理解し、それをグラフ表現としてコンピュータで、資料の作成である紙や鉛筆と同レベルで使いこなして、経済を表現していくことを目標としているゼミナールです。授業の中では、コンピュータの性質上、数学と英語が出てきます。苦手意識をもっている人も多いとは思いますが、実際にやってみるとそれほど高い壁ではないことも多いものです。さらに授業ではその原因となっているかもしれないコンピュータが、学習の手助けをしてくれます。大事なことは、論理的な思考を行うことです。物事を冷静な目で見る精神を養ってください。 | | |
| 教科書 | 必要資料に関しては都度配付する。 | | |
| 参考文献及び指定図書 | 井上裕著「まちづくりの経済学」、学芸出版会、2001 藤田昌久著「都市空間の経済学」、東洋経済新報社、1991 | | |
| 関連科目 | プログラミング入門、プログラミング言語、データ解析A、データ解析B、情報システム論、システム分析論、経済統計 | | |

| ○基本情報 | | | |
|------------------|---|----------------|--|
| 授業の目的 | 経済の分野としては、都市経済学という、都市の形成や成長、そこに関わる消費者の行動モデルを、経済的な統計データを用いて分析・表現していく分野を扱います。 対応DP: 専門知識を活用するための技能とプレゼンテーション能力、チームで活動するためのコミュニケーション能力を身につけていること。 | | |
| 授業の概要 | ゼミでは、ワードやエクセル、より高度な技能を考えている人は基本情報処理技術者、オラクル、JAVAといった資格取得を睨みつつ、現実に経済的・社会的なデータを得ることの難しさや、その手順、価値といったことを、フィールドワークを通じて、理解し表現していくことを目標とする。 | | |
| 授業の運営方法 | (1) 授業の形式 | 「講義形式」 | |
| | (2) 複数担当の場合の方式 | 「該当しない」 | |
| | (3) アクティブ・ラーニング | 「PBL(課題解決型学習)」 | |
| 地域志向科目 | カテゴリーⅡ: 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目 | | |
| 実務経験のある教員による授業科目 | 該当しない | | |

| ○成績評価の指標 | | ○成績評価基準(合計100点) | | |
|-------------------|---------------------------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 到達目標の観点 | 到達目標 | テスト (期末試験・中間確) | 提出物 (レポート・作品等) | 無形成果 (発表・その他) |
| 【関心・意欲・態度】 | さまざまな意欲・意識を持った他者と問題の共有を行うことで自身の一般化を図る | | | 30点 |
| 【知識・理解】 | 社会学を学ぶ上で最低限必要な数学的知識・マーケティングの知識を身に着ける | | | 30点 |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | 調査を実際に行うことで調査者として必要な技能を身に着ける | | | 30点 |
| 【思考・判断・創造】 | 客観的に問題を見つめることで鳥瞰的なオブジェクトシンキングを身に着ける | | | 10点 |

| ○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法) | |
|--|--|
| 実際の講義の有形・無形の参加状況により評価は行う。 講義でのレポートおよび講義への参加状況をもとに総合的に判断します。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。 | |

| ○その他 | |
|------------|--|
| (この欄は空欄です) | |

2023年度 授業シラバスの詳細内容

| ○授業計画 | 科目名 担当教員 | ゼミナールⅡA (SeminarⅡA) 本村 裕之 | 授業コード | E002409 |
|----------------------|-------------|------------------------------|-------|---------|
| 学修内容 | | | | |
| 1. 履修指導・インタビュー | | | | |
| 予習 | 前年度の振り返り | | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を受けての確認 | | | 約2時間 |
| 2. 各自の関心について意識の共有 | | | | |
| 予習 | 前回指導の確認 | | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を受けての確認 | | | 約2時間 |
| 3. 進路調査・取組・登録 | | | | |
| 予習 | 前回指導の確認 | | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を受けての確認 | | | 約2時間 |
| 4. 数学的知識1 | | | | |
| 予習 | 前回指導の確認 | | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を受けての確認 | | | 約2時間 |
| 5. 数学的知識2 | | | | |
| 予習 | 前回指導の確認 | | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を受けての確認 | | | 約2時間 |
| 6. 数学的知識3 | | | | |
| 予習 | 前回指導の確認 | | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を受けての確認 | | | 約2時間 |
| 7. 数学的知識4 | | | | |
| 予習 | 前回指導の確認 | | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を受けての確認 | | | 約2時間 |
| 8. コンピュータ概観1 | | | | |
| 予習 | 前回指導の確認 | | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を受けての確認 | | | 約2時間 |

| ○授業計画 | 科目名 担当教員 | ゼミナールⅡA (SeminarⅡA) 本村 裕之 | 授業コード | E002409 |
|------------------------|-------------|------------------------------|-------|---------|
| 学修内容 | | | | |
| 9. コンピュータ概観2 | | | | |
| 予習 | 前回指導の確認 | | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を受けての確認 | | | 約2時間 |
| 10. コンピュータ概観3 | | | | |
| 予習 | 前回指導の確認 | | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を受けての確認 | | | 約2時間 |
| 11. 卒論テーマ討論1 | | | | |
| 予習 | 前回指導の確認 | | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を受けての確認 | | | 約2時間 |
| 12. 卒論テーマ討論2 | | | | |
| 予習 | 前回指導の確認 | | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を受けての確認 | | | 約2時間 |
| 13. 卒論テーマ討論3 | | | | |
| 予習 | 前回指導の確認 | | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を受けての確認 | | | 約2時間 |
| 14. インタビュー2 | | | | |
| 予習 | 前回指導の確認 | | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を受けての確認 | | | 約2時間 |
| 15. インタビュー3 | | | | |
| 予習 | 前回指導の確認 | | | 約2時間 |
| 復習 | 指導を受けての確認 | | | 約2時間 |
| 16. 期末試験 期末試験は実施しない | | | | |
| 予習 | | | | |
| 復習 | | | | |